

## 平成 29 年度 体協ニュース

No.	29-⑤
行事名	青少年スポーツ指導者講習会 第1講座 『スポーツを通じたワクワクする社会づくり』 ～新しいスポーツ文化の創造をリードする～
講師	伊藤雅充氏 日本体育大学教授
会場	板橋区立文化会館 4階大会議室
日時	平成 29 年 6 月 8 日(木) 午後 6 時 30 分～
主催	板橋区 運営：公益財団法人 板橋区体育協会



### 《伊藤雅充講師プロフィール》

1971 年生まれ

1998 年 4 月～ 日本体育大学助手

2001 年 3 月 東京大学大学院総合文化研究科  
広域科学専攻生命環境科学系博士(学術)取得

2001 年 4 月～ 日本体育大学講師

2008 年 4 月～ 日本体育大学準教授

2017 年 4 月～ 日本体育大学教授

備考：コーチングのモデル・コア・カリキュラム策定に深く関わり、現在も日本体育協会公認スポーツ指導者制度改訂の委員として活動されている。また、国際コーチングエクセレンス評議会研究委員会の委員や、アジアコーチング科学協会副会長を務める。

一口紹介：アスリート・センタード・コーチングの概念を広める様々な活動を国内外で行っており、コーチデベロッパーとして多くのコーチの学びを支援している。

平成 29 年度「青少年スポーツ指導者講習会」の第 1 講座は『スポーツを通じたワクワクする社会作り』～新しいスポーツ文化の創造をリードする～というテーマで伊藤雅充氏を講師にお迎えし、平日の夜ではありましたが約 100 名の方が参加され、開講されました。

この講習会では講師より「アクティビティを通して皆でともに学び合いましょう」と提言され、参加者が主体的に参加する“ワークショップ形式”と講師が情報を提供する“講義形式”のハイブリット型で展開されました。それは、これまでの青少年スポーツ指導者講習会では経験した事の無い手法が取り入れられ、スマートフォン等の端末機を使用し、講習会参加者でグループを作り課題について話し合ったことや、各参加者の意見や回答が会場内に設置されたスクリーンにリアルタイムで映し出されるという、講師と参加者が一体化した講習会となりました。

2020 年東京オリンピック・パラリンピックを控え、日本のスポーツを取り巻く様々な環境が大きく変化してきている現在、施設整備やスポーツに関わる経済活動や訪問する外国人との交流等も大切ですがスポーツ文化そのものの発展を忘れてはなりません。スポーツが人間性を育てるというよりは、スポーツをリードする立場にあるコーチがスポーツの価値について常に問い、自らの責任を自覚し、スポーツコーチングを改善し続けていくことが出来るとすれば、スポーツは社会に対してとても大きな良い影響を与えることが出来ると考えられます。

その中で、“はい”か“いいえ”だけで答えられる「クローズクエスチョン」ではなく“はい”か

“いいえ”では答えられない「オープンクエスチョン」を用いることでより効果的な問いかけとなると説明を受けました。また、指導者としての大切な心構えとして忘れてはならないのが《学びの主体者は子ども／アスリートである》ということ、そして《学びの主体者であるアスリートの学びを支援する》ことであると学びました。コーチが何を「教える」かよりも子ども／アスリートが何を「学ぶ」かに焦点をあてること、更には「やる気」に働きかけ、自分からやらずにはいられないと思えるような動機づけを目指していくことだと説明して頂きました。

《Goal：何をやろうとしたか、Reality：実際どうなったか・どんな感じか、Option：もっとうまくやる方法はあるか、Will：次は何を意識してやってみるか》といった一連の流れを参考にし、将来に向けて《何→誰&どうやって教える→学ぶ》ということの具体的な例を示して頂き、参加者同士で話し合うこと等で、学ぶことが出来ました。

(浅賀 公子記)



《講師より情報が提供される“講義形式”》



《熱心に話し合う参加者に  
直接アドバイスをする伊藤雅充講師》



《参加者が主体的に参加する“ワークショップ形式”》